

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

エンパワメントスクール(ES)としての役割を十分に果たしつつ、成城高校独自の強みを活かし、自律し自立することで社会貢献できる人材を育成する学校

- 学びを大切にし、基礎基本の学力充実と夢実現の発展的学力の養成。
- 規範意識を身に着け、自己と他者を大切にできる人間育成と生徒が安心・安全・納得・満足できる学校。
- 自己有用感に満ち、社会貢献できる知識とスキルの習得。

2 中期的目標

1 成城高校がめざすESとしての成果をあげるための取り組み

(1) ESの基本である学び直し学習を着実にやり、発展的学力や知識習得ための取り組み

ア 「授業改善プロジェクト」にて「主体的・対話的で深い学び」を実現するための取り組みを行い、成城スタンダードを確立する。

中京大学の授業改革研究者との連携を継続し「学習課題」を明確に示し、その成果を実感できる授業を実施する。

* 生徒向け学校教育自己診断における授業満足度（平成30年度は48.5%）を引き上げ、平成31年度は60%、令和3年度に80%にする。

イ 成城みらいプロジェクトをさらに充実させ、教頭・首席中心のユニットでのミーティングを中心に、初任者を含む経験の少ない教員のスキルアップを図る

* 相互の授業見学を積極的に行い、良好な人間関係と授業力向上をめざす。

* 5年後の成城を見据えた新たな取り組みを模索し、職員会議に提案する

ウ ICTを活用した学びの充実

* プロジェクター、タブレット等ICT機器の活用方法を一層研究し活用を進める。

* 座学でのICT活用実施者割合を平成31年度は70%とし令和3年度は80%を達成する。

2 高い規範意識で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活の送れる学校作り

(1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応

ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC及び担任団を中心としたサポートチームの強化

イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導

* いじめアンケートを各学期に実施し、情報収集と相談しやすい環境づくり

* 一層寄り添う心と丁寧な指導で、生徒の安全で安心な学習環境を維持する。不登校ゼロをめざす

(2) 生徒が充実した高校生活を送るための取り組み強化

ア 学校生活を大切にさせるための取り組み強化

* 令和3年度保護者対象学校教育自己診断での「学校に対する満足度」を90%にする。（満足度指数記入欄を設ける）

* 令和3年度生徒対象学校教育自己診断で、「学校へ行くのが楽しい」回答を80%にする。

* 総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。

* 中退率維持（平成30年度は0.68%）

イ 部活動の活性化

* 平成31年度、部活動加入率全体70%、1年生80%にする。（平成30年度全体51% 1年生68%） 令和3年度全体の加入率を80%

ウ 学校環境の整備・・・「発展の三要素」を实践

* 働き方改革・・・会議のスリム化・定例化。重要性和緊急性の見極め徹底。（期日厳守）。職場の整理整頓。あいさつ

3 進路保障

(1) 基礎学力を身に着け、発展的学力を充実させる。

ア 公開授業・研究協議の維持

* 授業公開3回実施。教員相互の授業見学を積極的に行い、毎回レポート提出を提出。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実

* 教育産業が実施する学力診断テスト用い生徒の学力を定点観測し学力向上をはかる。評価指標であるD3の割合を平成31年度も10%減をめざし

令和3年度は全体の10%以下を目標とする。

(2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取り組み

ア 進路指導部主導型の進路指導体制を構築し、卒業時進路未決定者0（ゼロ）実現

* 入学当初の進路希望・夢実現に向けて、やる気にさせる取り組みを実施

* 進路未決定卒業生率を平成31年度以降減少させゼロをめざす。（平成30年度は2名）

イ 社会で役立つ資格等を取得するための取り組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。

* 平成31年度、実用英語検定2級2名、準2級20名、3級50名合格をめざす。平成30年度は2級0名、準2級1名、3級33名

* 平成31年度の資格取得者・検定試験合格者を530名にする。（平成30年度はのべ434名）

ウ 系列のさらなる充実

* 系列独自の発想で、生徒のニーズに即した仕掛けで、夢の実現を支援する。

4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり

(1) 平成31年度入学者選抜志願者確保

ア 「チーム成城」での組織的な情報発信

* 中学校訪問150校実施を組織的に取り組み強化し、それを維持する。（平成30年226校）

* 学校説明会を年5回実施 参加者800名以上を目標とする。（平成30年度は生徒・保護者向け5回計1007名）

* 平成31年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。（平成30年度86%） 令和3年度までに90%以上を達成する。

イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり

* 文化祭・体育祭に合わせて1000名以上の来場者を維持する。（平成30年度は1033名）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和元年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業はわかりやすい」が、向上（44.7%→58.1%） （授業はわかりやすく楽しいの'楽しい'を削除した影響があると考える） ・「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」が、向上（63%→75.3%） ・「日頃から清掃活動にしっかり取り組み、校内美化に取り組んでいる」が、向上（46.7%→57%） ・「エンパワメントスクールに来てよかった」（満足度）の数値（60.7%）が低めである。 ・全体的に学年が上がるにつれて、数値は下がっていく。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている」が、向上（67.1%→78.6%） ・「学校は子どもの生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている」が、向上（61.2%→72.4%） ・「学校は教育情報について提供の努力をしている」が、向上（61%→72.7%） ・「懇談等で来校した際、清掃が行き届き、生徒の生活環境が整った学校であると感じる」が、向上（66.2%→82.3%） ・生徒と同様、学年が上がるにつれて、数値が下がっていく。 <p><教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「普段から清掃が行き届いており、校内美化に努めている」が、下がっている（53.8%→43.8%） （生徒と保護者意識と、教員の意識が異なっている） 	<p>令和元年度 大阪府立成城高等学校 第1回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和元年 6月3日（月）午前10時00分～11時30分</p> <p>2 場所 校長室</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北館、工事について。 ・今年度の1年生について。 <p>(2) 会長（議長）の選出と職務代理の指名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続きお願いする。 <p>(3) 実施要綱第七条（保護者からの意見）に係る報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4 本校の現状報告と取組み</p> <p>(1) 平成30年度学校経営計画・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の学校経営計画の目標に対する評価と反省点 <p>(2) 令和元年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の学校計画についての説明 <p>(3) 分掌及び各学年の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分掌長、各学年主任より取組みについて説明。 <p>5 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校ゼロをめざす中で、学校に満足していないという理由もあるのでは。 ・評価の中に生徒、保護者、外部の意見も取り入れてはどうか。 ・ICT機器の活用やSNSの使い方も生徒に教えてほしい。 ・7限目の補習は、困り感のある生徒も単位認定できるのか。 →来年度、半期で1単位取れるよう進めていく。どの生徒でも受講は可能。 1年生はこれまでの蓄積で、ドリル等のプリント教材がたくさんあると思うので、それを活用していけばいいと思う。 →今年一年でめどを立てて、中学校にもアピールしていく。 ・数学、英語の苦手な生徒が多い。 →今、何のためにしているのか考えることが大事である。 ・遅刻者が少ない。挨拶もよくする。学校が落ち着いてきた証。これだけ学校が変わるのはすごいこと。 ・地域に貢献できる学校づくりの一環として、城東区の高校協議会等に出発してはどうか。 ・生徒の居場所づくりのためにも部活の加入率上げることが大事である。 ・いじめをなくすために、教職員と生徒がコミュニケーションを取ることが大切である。 <p>6 その他</p> <p>次回、第2回目は10月下旬から11月上旬、第3回目は1月下旬の予定。</p> <p>第2回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和元年 11月11日（月）午前10時00分～11時30分</p> <p>2 場所 視聴覚室</p> <p>3 内容</p> <p>(1) 学校長挨拶</p> <p>(2) 実施要綱第七条（保護者からの意見）に係る報告</p> <p>特になし</p> <p>4 本校の現状報告と取組み</p> <p>(1) 本校のかかえる諸課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席数について、増加傾向にある。 →懲罰的なことではなく、状況を説明して説諭して生徒の心に訴えていく ・クラブ加入率について アルバイトをする生徒数の増加に伴い、加入率が少しずつ低くなってきた。 ・体育祭は317名、学校説明会第1回211名、第2回171名の来場者があった。 <p>(2) 令和2年度使用教科図書の選定及び採択について</p> <p>(3) 学校教育自己診断について</p> <p>(4) 授業アンケートについて</p> <p>5 協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時に授業が始まり、チャイムと同時に授業が終わるのはすごいことである。 ・世界史の授業で、漫画等も取り入れれば、わかりやすいのではないかな。 ・プール横の循環器の音で、地域から苦情が出ている。 →防音シート等で覆い、改善済み。 ・地域のゆめまちプランに高校生も参加してはどうか。 ・成城セミナーの講座について

自主性に任せると聞いているが、やりたいけど難しい生徒にはどう対応するのか。

→入り口まで引っぱってくることはできる。'teach'でなく'leaning'半期の単位認定もあり、生徒がやりたい勉強をするというのが画期的である。申込はいつからできで、単位認定が不要な生徒はどうするのか。

→申し込みは4月当初から中旬あたりになる。詳細は今後検討して行く。

・教科書数が増えたのではないか。

→生徒が選択する科目数によって変わる。

・学習支援員が2名いることで、特性のある生徒もフォローできている。

・各クラブがどんなことをしているのかHPを充実させてはどうか。

・中退率0%はすごいことである。ただし、どこの学校も転学率は高くなっているの、そろそろ転学の数値を出してもよい時期ではないか。

・不登校ゼロの表記の仕方を工夫してはどうか。(どうしても、休まざる得ない生徒もいる)

・進路先のマッチングが大事である。

・授業開始前から先生が教室で待機できるのは落ち着いている学校の証である。

・読書離れ、活字離れしているので図書館をもっと有効的に活用してはどうか。

・クラブでレクリエーション的なものはどうか。

6 その他

・次回は1月下旬予定

第3回学校運営協議会議事録

1 日時 令和2年1月27日(月)午後2時～午後3時

2 場所 視聴覚室

3 内容

(1) 学校長挨拶

(2) 実施要綱第七条(保護者からの意見)に係る報告

特になし

4 本校の現状報告と取組み

(1) 令和元年度「学校経営計画・評価」について

・「わかる授業」が63.2%と向上した。(昨年度48.5%)

・「学校への満足度」が71.8%で、目標を達成した。

・「エンパワメントスクールへ入学してよかった」が71.1%だったので、次年度は「成城に入学してよかった」の項目も入れて両方の項目から分析する。

・遅刻・欠席が昨年度より増加している。

・「将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」が82.8%でほぼ達成した。

・資格・検定試験は、年度末には目標の500名を達成する見込みである。

・文化祭、体育祭を合わせた来場者数は1094名で、目標を達成した。

・授業改善プロジェクトでは、昨年度は2回、中京大学の授業改革研究者と連携したが、今年度は本校教職員で研修を実施したいと声があがった。「何をどのように学び」また、「何ができるようになるのか」を明確に示し、「何ができるようになったのか」を中心に進めていく。

・成城みらいプロジェクトでは、次年度は人材育成を軸に進めていく。

・すべての教室に無線LANが使用できるよう、環境を整備していく。

・中退率は、年度末に最終的な数値を入れる。

・部活動加入率は今年度62%である。一年生も今年62%であった。

・進路未決定卒業生率の数値は年度末に記入する。

・中学校訪問は今年度218校行い、中学三年生の第二回進路希望調査は262名であった。

(2) 次年度の学校経営計画策定に向けての意見等

・目標の設定値が適切な設定になっていて良い。

・ICTを使うのも人、作るのも人、いじめ等の問題も人であり、人づくりが大切。→エンパワメントスクールと意識して入学してくる生徒が本校には少ない。高い意識をもっている生徒に、もっと将来の希望が達成できるよう成城セミナーを立ち上げた。

・いじめアンケートに「私はいじめられている」と記入する生徒はいるのか。

→実際にいる。本校ではいじめを早期発見、解決できるよう3段階に分かれて行っている。

・いじめアンケートには書かなかったが、教職員の前でトラブルになった際の対応に不満が残った。

→確認する。

・遅刻・欠席が増えているが、遅刻・欠席の質が以前より変わってきたと感じる。中学校のときに疾病や起立性調節障害等があったり、不登校経験のある生徒が多いのではないか。

→具体的な数値はここではわからないが、幅広く、多様な生徒が入学している。

	<p>→目標数値として、遅刻・欠席の数値を上げることは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none">・今の成城で不登校経験者は合格できるのか。 <p>→入試選抜方法も変わり、中には不登校経験のある生徒も入学している。</p> <ul style="list-style-type: none">・工業系・商業系の高校を希望する中学生は少ない中で、成城はまだまだ伸びていく余地はある。・挨拶を以前は生徒からしてくれたが、最近はこちらから挨拶しないと感じる。第三者が学校に行ったとき、挨拶で学校を判断することもある。 <p>→以前から先生が先に生徒に挨拶するように伝えていたので、再度周知する。</p>
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 成城高校がめざすESとしての成果をあげるための取り組み	<p>(1) ES の基本である学び直し学習を着実に進め、発展的学力や知識習得ための取組み</p> <p>ア 授業力向上研修の充実</p> <p>イ 初任者を含む経験の少ない教員の教師力向上。</p> <p>ウ ICT を活用した学びの充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業改善プロジェクト」を機能させ授業力向上目的とした研修の企画、立案、実施を計画的に行う。 ・「成城みらいプロジェクト」を充実させ、未来を見据えた人材育成と、新たな取り組みへの着手 ・授業見学週間の充実。 <p>ウ・新しい取り組みを積極的に取り入れ、生徒の学ぶ意欲を充実させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」「楽しい授業」を実現し、生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を今年度は70%に引き上げる。 (平成30年度は48.5%) ・月一回の教頭・首席が中心となるユニットミーティングを実施。 ・授業観察用紙提出数目標100枚とする。(様式変更) (平成30年度 62枚) ・宿題の提出率90%以上をめざす。 <p>ウ・生徒向け学校教育自己診断において「授業などでタブレットやプロジェクター、コンピューターを活用している」の項目の満足度を85%にする。(平成30年度は64%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用実施者を平成31年度70%以上を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・63.2% 昨年度より引き上がったが、目標値には、達していない。(△) ・多忙のため前半できず、10月より企画会議として毎週実施 個別課題で対応。(△) ・授業観察につき3コメントとしたため比較できない。(◎) ・教科担当者だけでなく、担任からも伝えた。モジュールでは毎日の宿題は課さず、週末課題として主に金曜日に出した。(○) ・校長の授業観察シートに「ICTを効果的に使っているかの項目を入れた」「ICT活用研修を実施している。82.6% (○) ・授業観察における感想より判断。(○)

<p>2 高い規範意識で自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活の送れる学校作り</p>	<p>(1) いじめられ経験や不登校経験をもつ生徒への対応の充実 ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC 及び担任団を中心としたサポートチームの強化 イ いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導</p> <p>(2) 生徒が充実した高校生活を送るための取り組み強化 ア 学校生活を大切にさせるための取り組み強化</p> <p>イ 部活動の活性化</p> <p>ウ 学校環境の整備</p>	<p>(1) ア 組織的対応に欠かせない情報共有のため職員会議には近々の事案・事象の報告を行う イ ・式辞及び生徒集会等において常に学校の姿勢を訴えていく。 ・いじめアンケートを必要に応じて随時行い情報収集に努める。</p> <p>(2) ア・教頭、首席が中心となり、初任者を中心とした教師力向上研修を継続実施。 ・生徒との対話を通じ、関係性を築くことでの安易な遅刻、欠席・早退の防止。 ・学校生活を最後まで支援する姿勢を貫く。 イ・生徒会を充実させ、生徒が中心となって部活動活性化の活動をする。</p> <p>ウ働き方改革 ・会議のスリム化・ペーパーレス化。 ・重要性和緊急性を見極めの徹底。 ・期日、時間の厳守 ・清掃活動の重視 ・あいさつのあふれる環境を意識する。 発展の三要素（挨拶・整理整頓・時間厳守）</p>	<p>(1) ア・いじめが起因する不登校ゼロをめざす。 イ ・生徒向け学校教育自己診断における「先生はいじめなどについて私たちが困っていること真剣に対応してくれる」を平成31年度75%とする。 (平成30年度は68.6%) ・いじめアンケート3回実施</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断の保護者の「学校への満足度」満足度70%をめざす。 ・「学校へ行くのが楽しい」を75%にする。 ・学校教育自己診断の生徒項目「成城に入学してよかった」を80%目標とする。 (平成30年度は68%) ・総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。 (平成30年度遅刻1379回、欠席2705日) ・中退率の維持（平成30年度は0.68%） イ・全学年生徒対象部活動紹介を継続実施する。 (全員体験入部2日) 1年生の部活動加入率80%を実現する。 ウ ・学年・分掌・職員会議は基本月に一回とする。 ・教員自らが、期日・時間を守る姿勢を示す。 ・学校教育自己診断の生徒項目「校内美化に努めている」ことを肯定的回答80%をめざす。 平成30年度は53.4% ・朝のあいさつ運動継続。</p>	<p>・細かな指導を行っている。(聞き取りを実施) (◎)</p> <p>・いじめアンケートを年3回実施。平素よりいじめや人権侵害についてクラスで啓発している。71.7% (○)</p> <p>・今年度も3回実施し、火種の小さな段階でしかるべき対応ができた。 (○)</p> <p>・授業力向上研修が、効果的であった。協同学習定着している。71.8% (◎)</p> <p>・いじめの少なさや教員の支援の心を持った生活指導を心がけている。73.8% (○)</p> <p>・エンパワメントスクールへ入学してよかった数である。次年度は「成城へ入学してよかった」を入れる。71.1% (△)</p> <p>・1・2学期 R元年（遅刻1667回 欠席3192回） H30年（遅刻1096回 欠席2056回） 前年比 遅刻52.1%増 欠席55.3%増(△) ・今後は転学者の数値も見る 0.1% (◎)</p> <p>・実施したが加入率は(62%)横ばい。 (グラウンドが狭いことも原因の一つ) (△)</p> <p>・学年団会議が出来ていない。 (△) 担任会は、毎週1回 実施している。 (○) ・職員会議等開始時間がたびたび遅れる。(△) ・肯定的回答は向上しているが、目標値には達成していない。64.3% (△)</p> <p>・毎日、校長が実施している。首席も毎回自主的に参加した。 (◎)</p>
--	---	---	---	---

3 進路保障	(1) 基礎学力を身に 着け、発展的学力を 充実させる取組み。 ア公開授業・研究協 議を充実させた授業 改善。	(1) ア・研究授業、公開授業、授業見学を計画的・ 組織的に実施。各学期に1度	ア・生徒向け学校教育自己 診断における授業満足度を 70%にする。 (平成30年度は48.5%)	・63.2%	(△)
	イ「主体的・対話的 で深い学び」の探 求・実践・充実	イ・教育産業が実施する学力診断テストを継 続し、生徒の学力を定点観測し、生徒のモチ ベーションを上げるとともに、教員のスキル アップの材料とする。 ・大学と連携を図り「主体的・対話的で深い 学び」の校内研修を実施する。2回計画 実施予定	イ・学力判定指標 D3 の割合を 10%減をめざす。 (平成30年度は8.4%) ・職員研修参加率95%を実 現する。平成30年度は92.0%	・28%減	(○)
	(2) 希望進路の実現 をめざし、高いモチ ベーションを維持す るための取組み ア進路指導部主導型 の進路指導体制構築	(2) ア・計画的な進路指導と、保護者懇談等を通じて の情報提供を積極的に行う。 ・大学・短大進学、就職・公務員・専門学校、 看護医療の4つの係に担当を明確化し、学年 団への指導と進路希望別に生徒への直接指導 を行う。	ア・学校教育自己診断における 「学校は将来の進路や職業に ついて、適切な指導を行ってい る。」について平成31年度は 90%を目標とする。 (平成30は81.3%) ・卒業時進路未決定者0（ゼ ロ）実現	・進路支援部が主導して、計画的なキャリア教 育、進路指導を、学年とともに実施している。 82.8%	(○)
イ社会で役立つ資格 等を取得するための 取組みと、進学に 向けた英語、数学、 国語の進学講習の充 実。	イ・積極的に実用英語検定を受験させる。(1年 生は全員必須) またそのための学習の機会を 設ける。 ・生徒・保護者への周知・指導強化	イ・平成31年度は実用英語検定 2級1名準2級10名3級40 名を実現。 (平成30年度は2級0名 準2級1名 3級30名) ・資格取得者・検定試験合格者 を500名にする。 (平成30年度は434名)	・現在、指導中。	(○)	
ウ系列の充実	ウ・各系列が、独自の発想で生徒のニーズに 即した仕掛けで、夢の実現を支援する。 ・成城セミナー（仮）開催準備	・系列充実計画案策定 数理人分系列が中心となって、 高い学習意識を持った生徒を、 教員のボランティアではなく、 授業として実施する、自学自習 の携帯授業。主体的学びの実践	3級 39名 準2級(4名)	(○)	
			・1月22日現在(603名)	(○)	
			・成城セミナー実施決定。	(○)	
			教務Gと教育センターとにご指導いただきな がら開講が決定した	(○)	

府立成城高等学校

<p>4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり</p>	<p>(1) 平成 29 年度入学者選抜志願者確保</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <p>イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり</p>	<p>(1)</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を維持し、本校の実践内容を広く知ってもらう。 ・学校説明会や地域における説明会への管理職を中心に組織的に取り組み、経験の少ない教員にも経験を積ませる。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸機関・事業所との交流・連携 ・文化祭・体育祭の地域等への門戸開放を一層進め、内容の充実を図る。 	<p>(1)</p> <p>ア・中学校訪問 150 校実施を組織的に取り組む。 (平成 30 年 226 校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学 2・3 年生徒・保護者・中学校教員等を 5 回開催し、計 800 名の参加を集める。 (平成 30 年度は生徒・保護者向け 5 回 1007 名) ・塾経営者への学校説明会 1 回 ・中学校進路指導主事向け説明会 1 回 <p>・平成 31 年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。90%を目標 (平成 30 年度は 86%)</p> <p>イ・広報活動の充実。 成城ニュースを積極的に発行し、玄関前に掲示するとともに、了解の得られた地域や中学校へ啓示願う。 (平成 30 年度は 100 号) HP の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭り、自治体の催し物への積極的参加。 (平成 30 年度は吹奏楽部・ダンス部が福祉施設へ慰問。軽音楽部が持ちつき参加) ・文化祭・体育祭に合わせて 1000 名以上の来場者を迎える。 (平成 30 年度は 1033 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、218 校訪問。 (○) ・ 5 回実施。(R 元年 835 名) (H30 年 1007 名) (○) ・ 10 月 10 日午前に実施。(13 名参加) (◎) ・ 10 月 10 日午後に実施。(21 名参加) (○) ・ 入学者説明会で、入学の際には「本校のルール特徴を納得し、ここでなければならぬ必然性を見出して来ていただきたい」と常に訴え続けている。不本意入学の防止。93% (○) ・ 3 月 7 日末現在 99 号まで発行。 (◎) ・ R 元年度は、吹奏楽部・創作部が夏祭りに参加。また、吹奏楽部・ダンス部が地域の敬老の日イベントに参加。 (◎) ・ 体育祭 226 名 文化祭 868 名 (R 元年度 1094 名) (◎)
---------------------------------------	---	--	---	--